

TOKYOのかかりつけ医には医療DXが必要 ～オンライン資格確認の導入に絡めて～

理事（医療情報担当） 目々澤 肇

東京都医師会定例記者会見



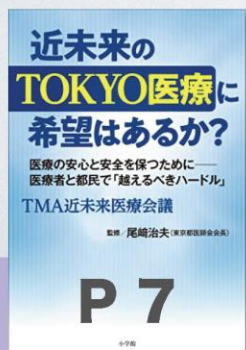
公益社団法人 東京都医師会

ご覧いただけましたか？



公益社団法人 東京都医師会

東京都医師会からの重要な主張が満載です



序章 「TMA近未来医療会議」の意義と目的

東京の医療者が声を上げなければ
「近未来の医療崩壊」は回避できない

尾崎 治夫
（東京都医師会会長）



公益社団法人 東京都医師会

なかでも109ページは大切です




近未来のTOKYO医療に希望はあるか? ~医療者と都民で「越える…」

医師の視点から②

都内全域をカバーする 「東京総合医療ネットワーク」の可能性

目々澤醫院院長 / 東京都医師会理事 目々澤肇



東京都民の受療行動には、急性期には都心部の大病院を受診し、慢性期に入ると都西部や多摩地区の病院に移る——という傾向があります。この現象が地域包括ケアを確立するうえでの障壁となっていることは、第2章で香取照幸先生が詳しく説明したとおりです。

このように二次保健医療圏を超えての受診事例が多い現実を踏まえて、患者情報を都全体で共有する必要性がかねてより指摘されてきました。

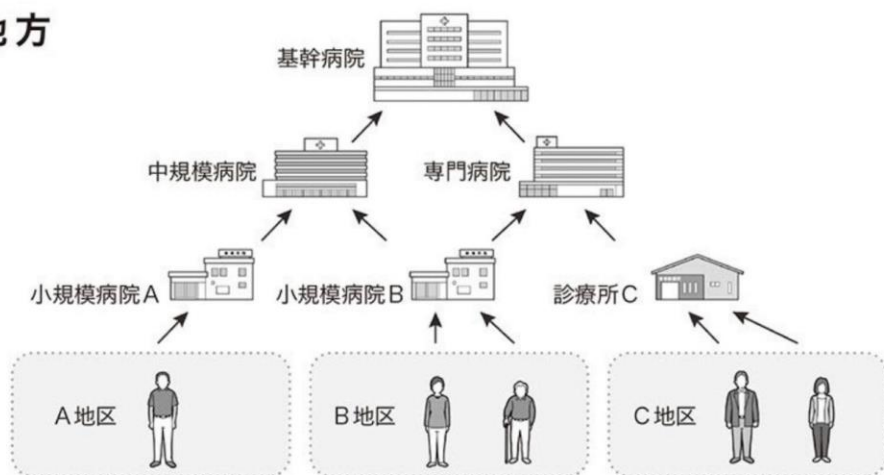
そこで2015年頃から東京都の支援を受けて始まったのが「東京総合医療ネットワーク」の取り組みです。「患者情報（電子カルテ）の共有なんて簡単な話では？」という疑問もあるかもしれませんが、「究極のプライバシーシールド」である医療情報の管理は厳格に運用されているので、不正閲覧やデータ漏洩は絶対に許されず、容易ではありませんでした。



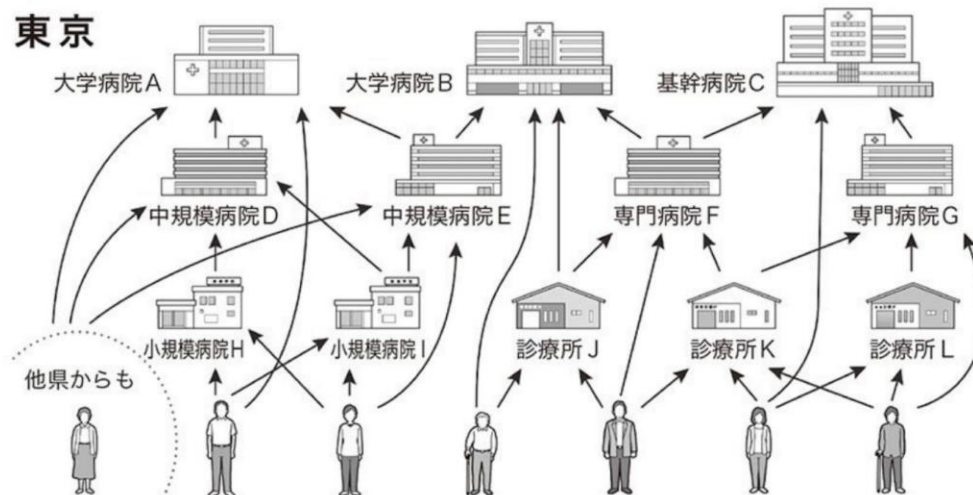
公益社団法人 東京都医師会

東京の医療は地方と構成が異なります

地方



東京

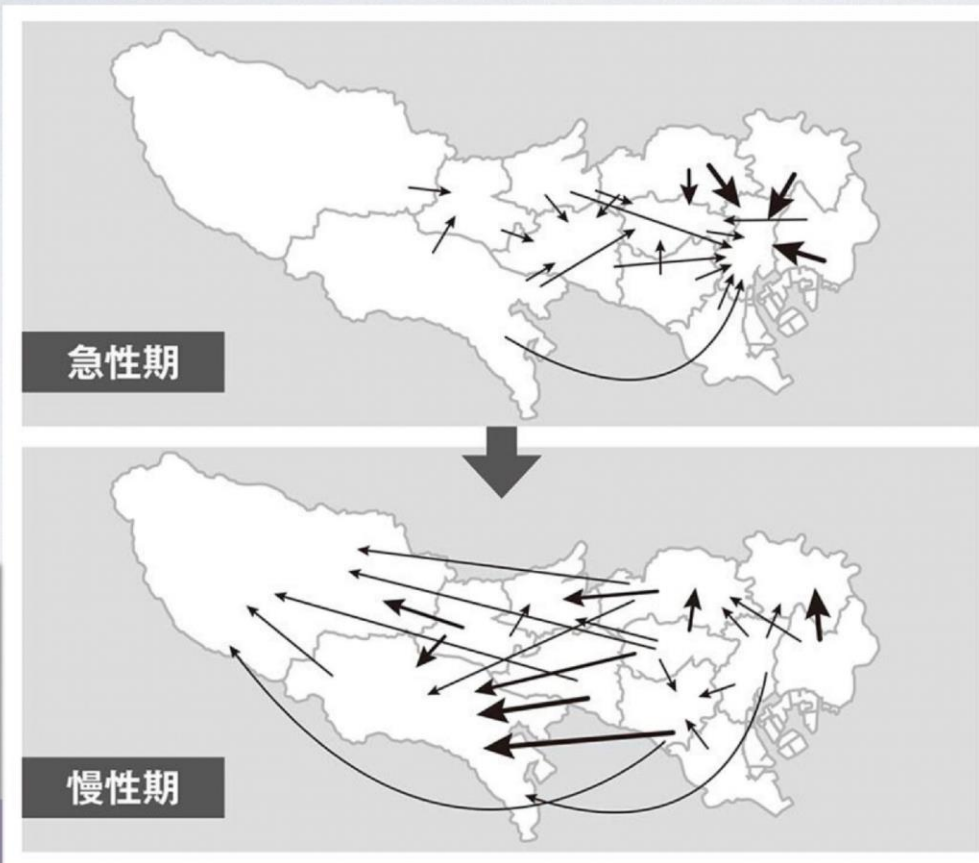


地方では「地域完結型」医療が成立するが、医療機関数が多い東京では1人の患者さんが大小問わず複数の医療機関を受診していることが多く、都県境を越えての受診も多い

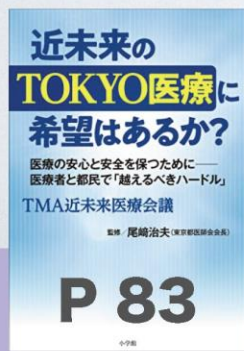


公益社団法人 東京都医師会

東京の医療は地方と構成が異なっています

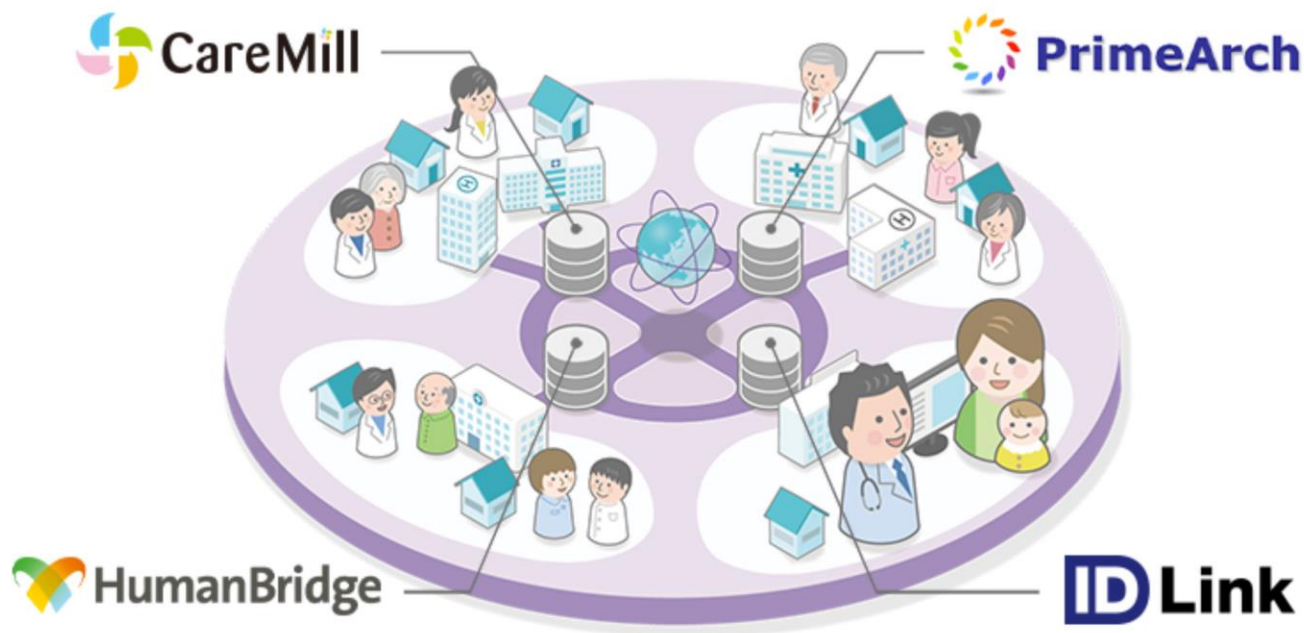


急病が発生した途端の急性期には都心部の大病院への受診傾向が高く、病気が安定した慢性期になると自宅のあるところへ戻ったり慢性期施設へ向け周辺県へ出て行くことも起こり得る



公益社団法人 東京都医師会

東京総合医療ネットワークはすでに都内31施設で稼働



「東京総合医療ネットワーク」の取組に期待します

都民の誰もが、住み慣れた地域で安心して質の高い医療サービスを受けられるようになるためには、様々な特色や役割をもった医療機関同士が医療情報を共有できる環境を整えることが大変重要です。

医療分野におけるデジタル化の波が驚くべきスピードで広がる今日、東京都医師会では、多くの医療機関が存在する大都市・東京において、都全域を対象とした病院、診療所間における診療情報ネットワークの構築に取り組まれています。

この取組が一層推進されることにより、それぞれの医療機関が最大限に力を発揮し、患者にとっても安心できる効率的な医療サービスが提供される社会が実現されることを期待しています。

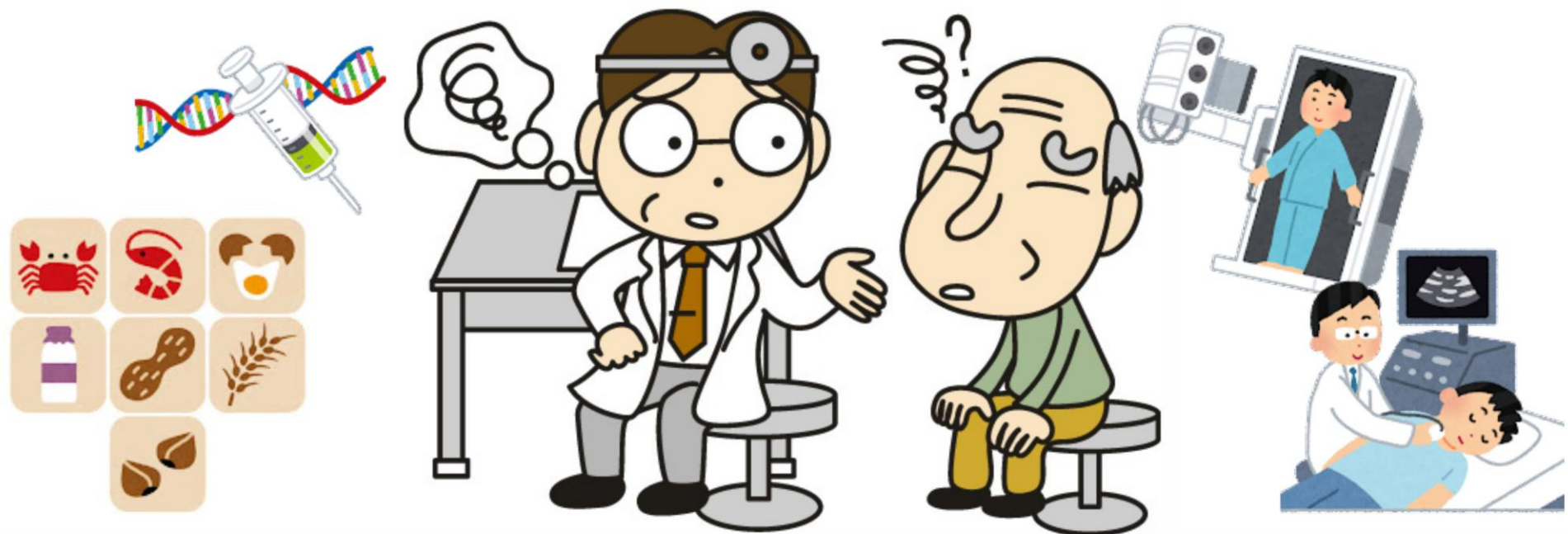
東京都知事

小池百合子



4つの異なる病院電子カルテを連結しています

初めての患者さんが これまでどんな検査・治療を受けてきたのか わからずに困ったことがたびたびあります



公益社団法人 東京都医師会

東京総合医療ネットワークで解消できます



近未来の
TOKYO医療に
希望はあるか？

医療の安心と安全を保つために——
医療者と都民で「越えるべきハードル」

TMA近未来医療会議

監修 尾崎治夫 (東京都医師会会長)

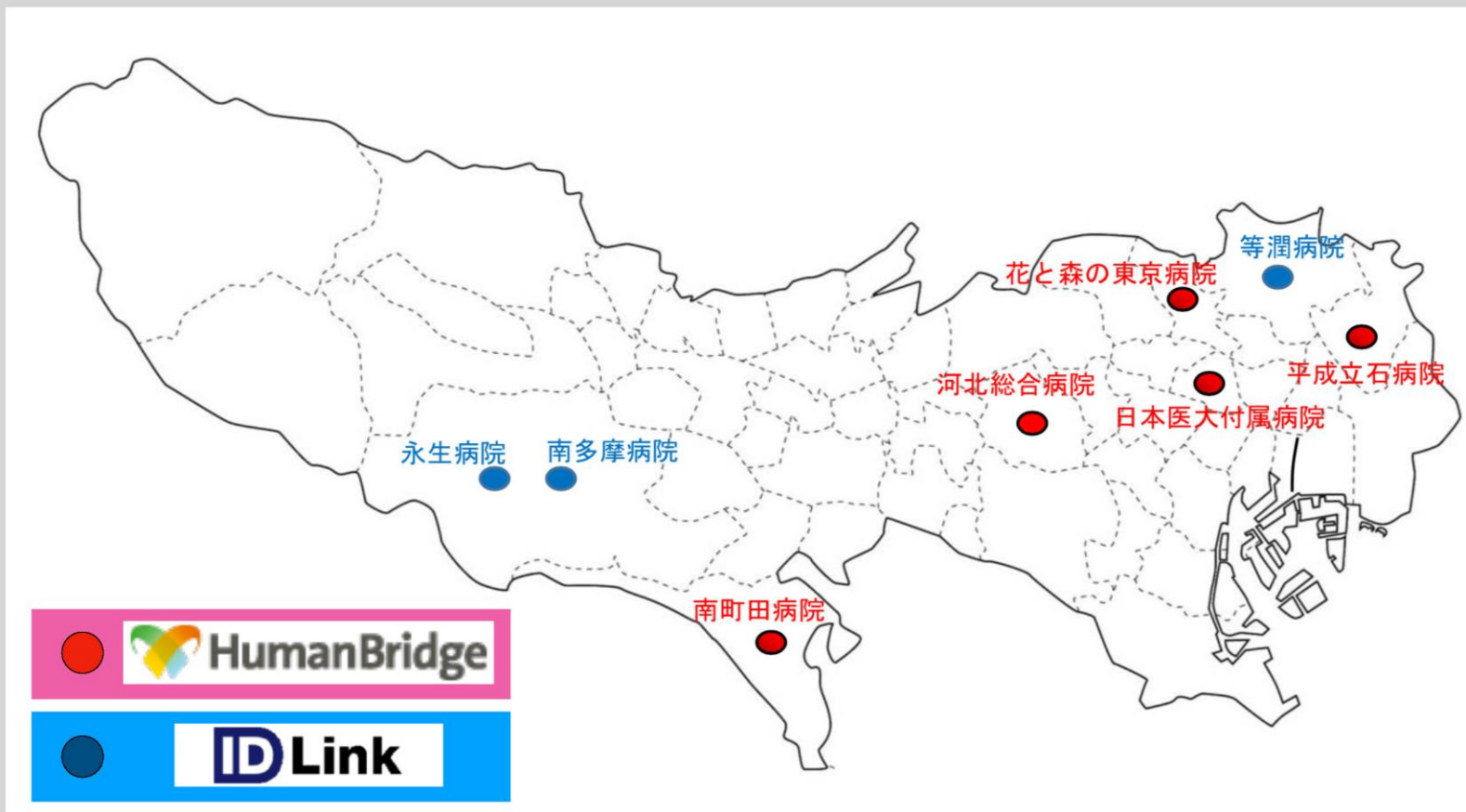
P 114

小学館

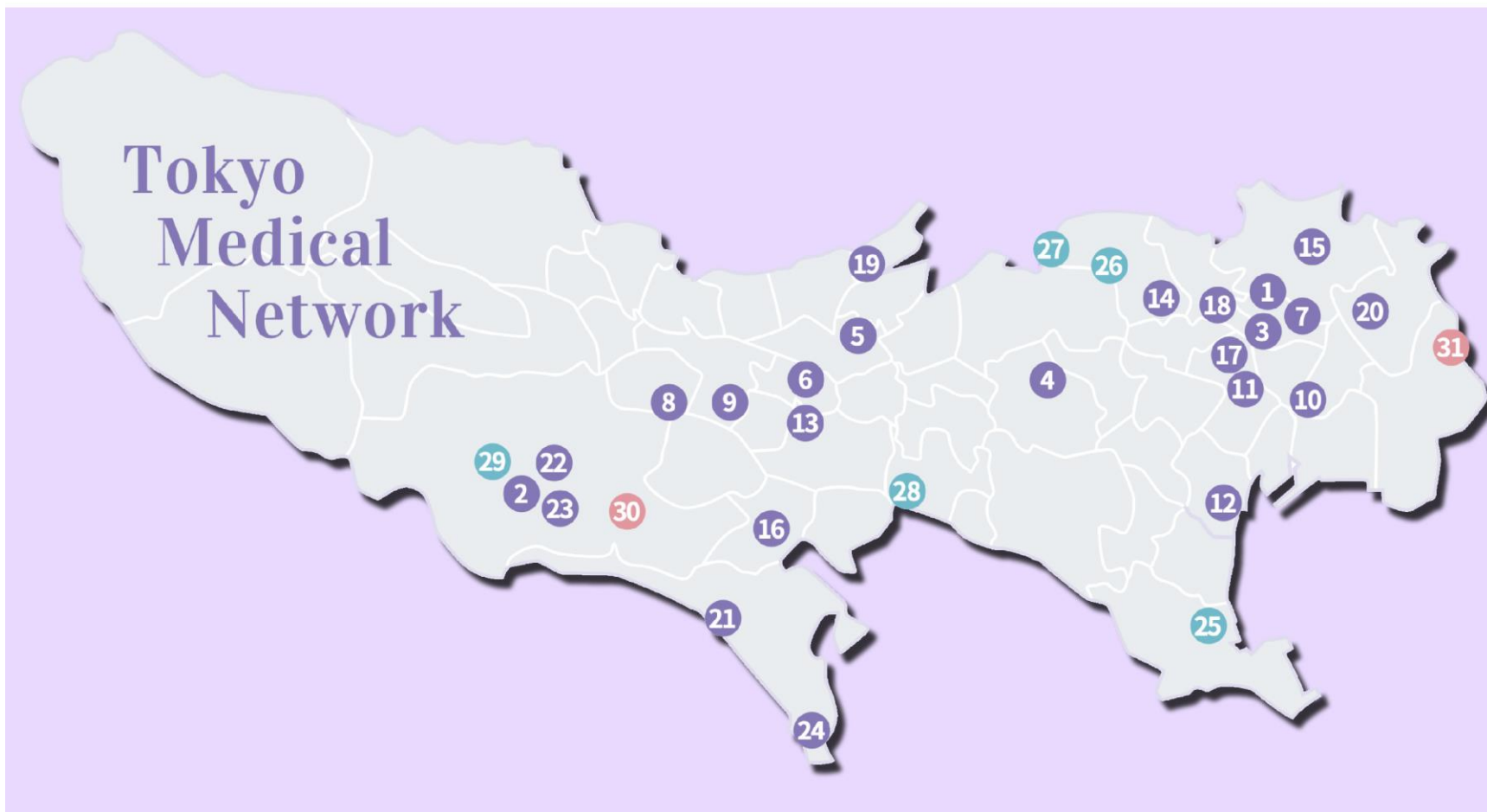


公益社団法人 東京都医師会

平成30年11月に8病院で本格運用開始



24病院で情報開示、5病院・2診療所で情報閲覧



開示施設

- 1 いずみ記念病院
- 2 永生病院
- 3 岡田病院
- 4 河北総合病院
- 5 公立昭和病院
- 6 国分寺病院
- 7 すずき病院
- 8 竹口病院
- 9 立川病院
- 10 同愛記念病院
- 11 東京医科歯科大学病院
- 12 東京都済生会中央病院
- 13 東京都立多摩総合医療センター
- 14 東京都立豊島病院
- 15 等潤病院
- 16 日本医科大学多摩永山病院
- 17 日本医科大学付属病院
- 18 花と森の東京病院
- 19 複十字病院
- 20 平成立石病院
- 21 町田病院
- 22 南多摩病院
- 23 みなみ野病院
- 24 南町田病院

閲覧施設(病院)

- 25 大田病院
- 26 慈誠会記念病院
- 27 慈誠会成増病院
- 28 調布病院
- 29 陵北病院

閲覧施設(診療所)

- 30 数井クリニック
- 31 目々澤醫院

東京都の地域医療を支援する

東京総合医療ネットワーク

【お問い合わせ】

TEL:03-5217-0896

連携患者数 11,388 人

[2023年1月31日時点]

🏠 ホーム

参加するには

お知らせ

よくあるご質問



国が考えている医療DX

- オンライン資格確認.....基本となるネットワークの構築
- 電子処方箋....医療者の資格証明（HPKIカード）を普及させる
- 医療情報の標準化.....3文書6情報を共有する
- 標準型電子カルテ.....電子カルテのない医療機関への配布
- 医療費改定DX.....電子カルテ業者への保険改訂負担均軽減



かかりつけ医って
なんですか？



公益社団法人 東京都医師会



かかりつけ医はあなたのそばにいます！

日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。

熱がある、体がだるい、食欲がないなど体調が悪いなど感じた時にまず相談する自宅近くの診療所や病院の医師のことです。内科や外科、小児科、婦人科、眼科、耳鼻科、皮膚科、整形外科、泌尿器科など多くの種類の科目からそれぞれ得意とする科を診察しています。つまり、病院の医師か、診療所の医師か、どの診療科かを問うものではありません。

- [① 適切な他の医療機関を紹介](#)
- [② 健康診断・健康相談](#)
- [③ 介護保険の主治医意見書](#)
- [④ 地域での活動 在宅医・ACP](#)
- [⑤ 認知症の早期診断と支援](#)

東京都医師会ホームページより



コロナ禍でかかりつけ医が問い直されました

医療プレミア 健康を楽しくするカラダに効くサイト 病気を調べる 新着記事 連載 専門家・執筆者

新型コロナ ただの風邪でも診てもらえない

高木昭午・毎日新聞医療プレミア編集部
2020年3月16日

保存 1 Timeline 文字 印刷



BUSINESS INSIDER LIFE INSIDER MONEY INSIDER

BUSINESS INSIDER ビジネス テクノロジー 働き方 サイエンス 政治 国内 国際

発熱は診療拒否、100回かけてもつながら ないコロナ相談センター、GWは休診。 RPG化する日本の医療



公益社団法人 東京都医師会

「かかりつけ医義務化、登録制」改めて反対、松本日医会長

「各ステークホルダーのベクトルの均衡点で一定の決着を見た」

レポート 2023年2月15日 (水)配信 橋本佳子 (m3.com編集長)

日本医師会会長の松本吉郎氏は2月15日の定例記者会見で、かかりつけ医機能が発揮される制度整備の法案について、「さまざまなステークホルダーがいる中、加藤勝信厚労大臣のリーダーシップの下でそれぞれのベクトルの均衡点で、一定の決着を見た」と評価した上で、かかりつけ医を持つことの義務化、登録制、人頭払いなどには改めて反対、フリーアクセスの堅持を訴えた。

医療機関の専門性の観点から、かかりつけ医を複数持つことも多いとし、今回の制度整備はかかりつけ医とそれ以外を区別するものではなく、かかりつけ医を認定する制度でもないと説明。



「かかりつけ医義務化、登録制」改めて反対、松本日医会長

医療機関の専門性の観点から、かかりつけ医を複数持つことも多いとし、今回の制度整備はかかりつけ医とそれ以外を区別するものではなく、かかりつけ医を認定する制度でもない



医療維新

新着

レポート

インタビュー

オピニオン

スペシャル企画

医師調査

シリーズ

岸田政権の医療・社会保障政策 »

医療維新

かかりつけ医機能の制度整備、法案を閣議決定

施行は2025年4月予定、病医院による報告・公表の仕組みに

レポート 2023年2月10日 (金)配信 橋本佳子 (m3.com編集長)

知事による「確認」、行政処分を伴う行政行為にあらず

かかりつけ医機能が発揮される制度は、▽病院、診療所は「かかりつけ医機能」について、都道府県知事に報告、▽都道府県知事は報告を受け、「かかりつけ医機能」の要件を有することを確認し、外来医療に関する地域の関係者との協議の場に報告するとともに公表——という流れが想定されている。

「かかりつけ医機能」とは、日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能、時間外診療を行う機能、病状急変時等に入院など必要な支援を提供する機能、居宅等において必要な医療を提供する機能、介護サービス等と連携して必要な医療を提供する機能——の5項目だ。

医療維新

新着

レポート

インタビュー

オピニオン

スペシャル企画

医師調査

シリーズ

岸田政権の医療・社会保障政策 »

医療維新

かかりつけ医機能の制度整備、法案を閣議決定

施行は2025年4月予定、病医院による報告・公表の仕組みに

- 1) 日常的な診療を総合的かつ継続的に行う機能
- 2) 時間外診療を行う機能
- 3) 病状急変時等に入院など必要な支援を提供する機能
- 4) 居宅等において必要な医療を提供する機能
- 5) 介護サービス等と連携して必要な医療を提供する機能

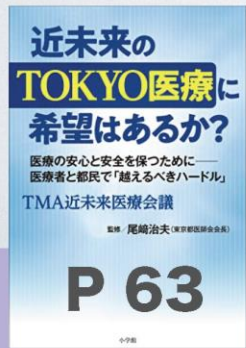
かかりつけ医のありかた

第2章 2040年に向けた解決策を探る

医療崩壊を回避する

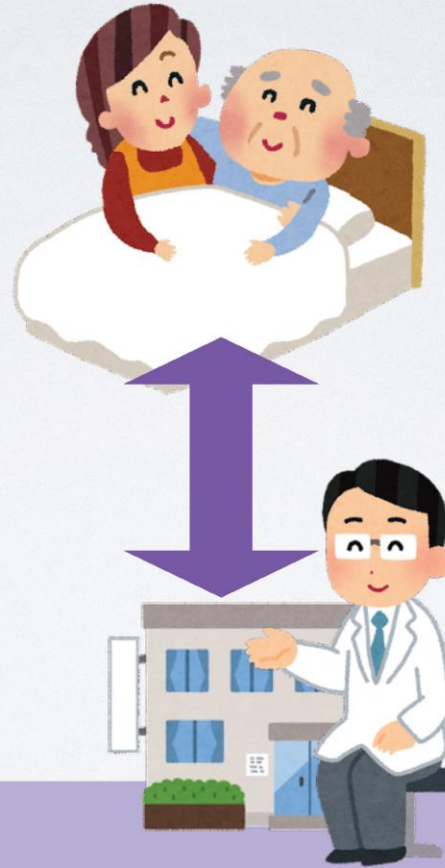
「かかりつけ医」と地域包括ケア

上智大学総合人間科学部教授 香取照幸（第2クール座長）



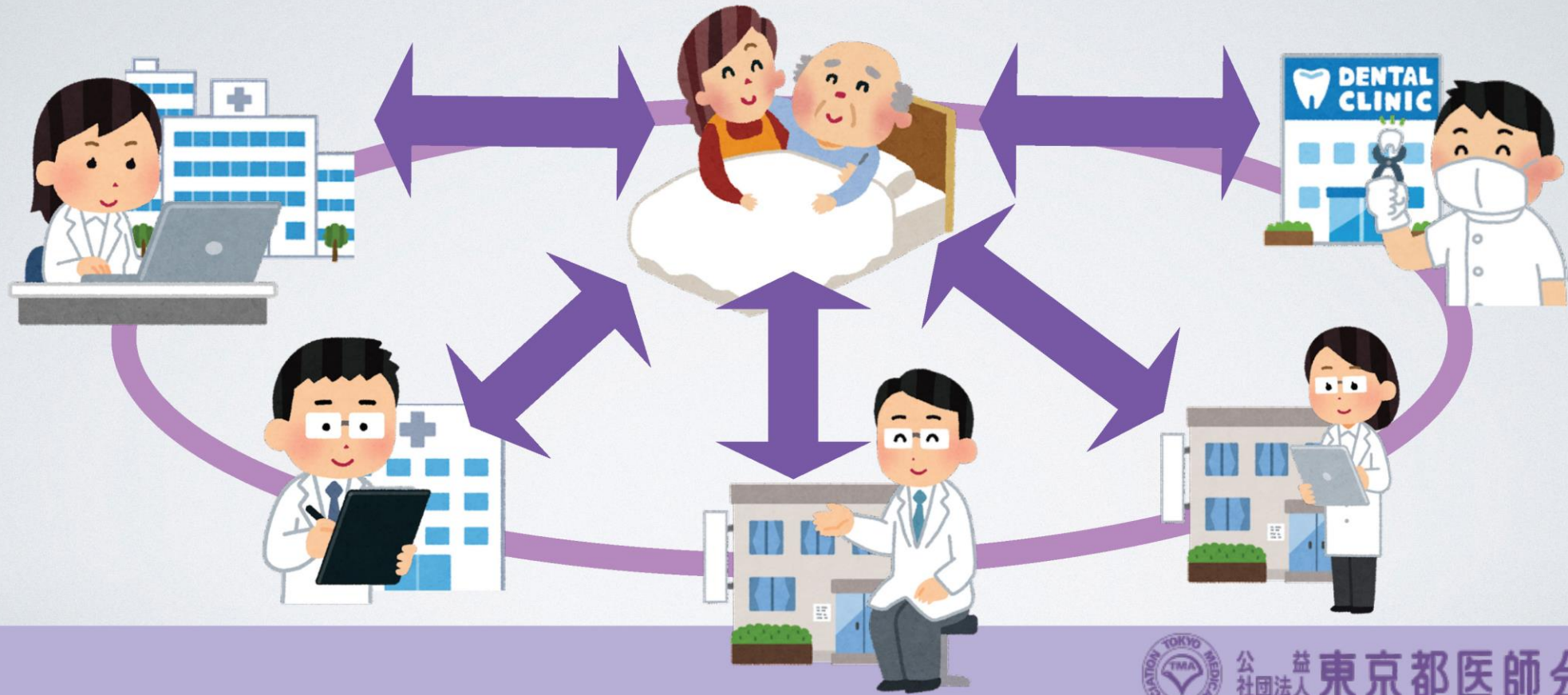
公益社団法人 東京都医師会

かかりつけ医は一人ではなくグループで



公益社団法人 東京都医師会

かかりつけ医は一人ではなくグループで



公益社団法人 東京都医師会

紹介状も書かずに発熱患者に 「尾崎のところに行け」という医者がいる

せめて電話で
処方薬だけでも
伝えてくれよ！



これが医療連携の究極の必要性です！

最初から完璧なシステムはあり得ない

- 東京都医師会では5月までサポートページを開設
- 日本医師会では現在もトラブル報告ページを継続
- 医療保険システムが複雑かつ異動への対応が緩慢
- マイナンバー制度と資格確認は切り分ける必要あり
- これからの熟成を待ちたい



**個人としては患者さんを休暇中でも
こんな風にサポートしてあげたい**



Picture from Twitter



公益社団法人 東京都医師会



ご静聴ありがとうございました



公益社団法人 東京都医師会